

100メートルに伸びる歴史的な「銀の馬車道」（現在は銀の馬車道として知られている生野鉱山寮馬車道）は、神河に保存されている。1876年に、この道路はマカダム技術を使って建設された日本で初の道路であった

桜の木で縁取られた池の周りを巡っており、道路のこの部分はしっかりと保存され、2016年にその建設を研究するために道路の一部が発掘された。景観もまた19世紀後半以来ほとんど変わっていない。